

報道関係各位

株式会社セキュアブレイン

セキュアブレインのフィッシング対策ソリューション「PhishWall」を千葉信用金庫が採用

フィッシング対策とウェブサイト改ざん対策を実施

株式会社セキュアブレイン(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO:成田 明彦、以下「セキュアブレイン」)は、千葉信用金庫(本店:千葉県千葉市、理事長 伊谷 啓)が、同庫のインターネット・バンキングやホームページを利用する顧客をフィッシング詐欺やウェブ改ざんによるウイルス感染や個人情報漏えいの被害から未然に守る対策ソリューションとして、セキュアブレイン「PhishWall(フィッシュウォール)」を採用し、サービスを開始したこと発表します。

一般社団法人JPCERTコーディネーションセンターが運営するフィッシング対策協議会が本年6月に発表した「フィッシングレポート2012」(https://www.antiphishing.jp/report/wg/phishing_report2012.html)によると、2011年度のフィッシング対策協議会に対するフィッシング情報の報告件数は対前年度で約23%増(2009年度283件から、2010年度406件、2011年度498件)、フィッシングサイトの件数は、対前年度で約13%増(2009年度260件から、2010年度516件、2011年度582件)と増加傾向にあり、金融機関やネットオークションをかたるフィッシング事例のほかに、銀行の第二認証情報を詐取するフィッシング事例も報告されており、フィッシング手法の高度化が顕著になっています。

フィッシングサイトの増加、フィッシング手法の高度化により、インターネット・バンキングを展開する金融機関各社は、顧客をフィッシング詐欺や個人情報の漏えいから守るために、アクセスしているウェブサイトが、真正であることを証明することを求められています。また改ざん対策の為にウェブサイトを監視することは「顧客保護の観点」からも必要不可欠な要素になっています。

千葉信用金庫では、フィッシング詐欺対策とウェブサイトの改ざん対策を目的として、「PhishWall(フィッシュウォール)」の採用を決定しました。採用の理由は、「PhishWall(フィッシュウォール)」が利用者に提供する「視覚的なわかりやすさ」、管理者にとっての「高い操作性」、「導入・運用の容易さ」に加え、インターネット・バンキングページだけでなく、トップページから真正なサイトであることを証明できる点です。「PhishWall(フィッシュウォール)」の採用企業は金融機関を中心に、千葉信用金庫で37社になります。

サービス開始後、顧客が千葉信用金庫の真正なウェブサイトアクセスすると、顧客のブラウザのツールバーで動作する「PhishWall(フィッシュウォール)クライアント」に緑色の信号が表示されます。これによってアクセスしたウェブサイトが一目で千葉信用金庫のサイトであることが証明され、顧客がフィッシング詐欺に遭う危険を回避することができます。また、セキュアブレインが、千葉信用金庫のウェブサイトを定期的にチェックする「ウェブ解析サービス」が開始されることで、さらに安全なウェブサイト運営が可能になります。

セキュアブレインは、金融機関等やECサイトなど、顧客が個人情報を入力するウェブサイトすべてに対して、安全性向上のためのソリューション提供を積極的に推進し、「PhishWall(フィッシュウォール)」をインターネット・バンキング向けフィッシング対策の業界標準にしたいと考えております。

以上

セキュアブレイン PhishWall(フィッシュウォール)とは:

「PhishWall」は、ウェブサイト運営する企業が、自社ウェブサイトの真正性を証明するために導入するサーバ側ソフトウェア、「PhishWall サーバ(有料)」と、エンドユーザの PC にブラウザのツールバーとしてインストールする「PhishWall クライアント(無料配布)」から構成されています。「PhishWall クライアント」は、「PhishWall サーバ」が導入されたウェブサイト閲覧時に、緑のシグナルをツールバー上に表示して、当該ウェブサイトの真正性を証明します。「PhishWall クライアント」は、「PhishWall サーバ」の導入企業、およびセキュアブレインのウェブサイトから配布されます。

また、「PhishWall サーバ」導入企業には、ウェブサイトの改ざんの有無を定期的に確認し、不正な改ざんを検知すると管理者にアラートメールの配信と詳細レポートを提供する「ウェブ解析サービス」を無料オプションとして提供しています。「ウェブ解析サービス」は、ウェブサイトのコンテンツやリンク先等複数の要素を解析するので、Gumblarのように、従来の対策では検知が難しい攻撃による、ウェブサイトの改ざんも検知が可能です。

詳細は、<http://www.securebrain.co.jp/products/phishwall/index.html> をご覧ください。

PhishWall(フィッシュウォール)採用企業(2012年10月16日時点、五十音順、敬称略):

- ・株式会社足利銀行 (www.ashikagabank.co.jp)
- ・株式会社常陽銀行 (www.joyobank.co.jp)
- ・あぶくま信用金庫 (www.abukuma.co.jp)
- ・株式会社ジャックス (www.jaccs.co.jp)
- ・株式会社池田泉州銀行 (www.sihd-bk.jp)
- ・スルガ銀行株式会社 (www.surugabank.co.jp)
- ・石巻信用金庫 (www.i-shinkin.co.jp)
- ・株式会社仙台銀行 (www.sendaibank.co.jp)
- ・おokayama信用金庫 (www.shinkin.co.jp/okayama/)
- ・ダイレクトワン株式会社 (www.directone.co.jp)
- ・株式会社沖縄銀行 (www.okinawa-bank.co.jp)
- ・株式会社千葉銀行 (www.chibabank.co.jp)
- ・株式会社オリエントコーポレーション (www.orico.co.jp)
- ・千葉信用金庫 (www.shinkin.co.jp/chibaskb/)
- ・株式会社鹿児島銀行 (www.kagin.co.jp)
- ・東京東信用金庫 (www.higashin.co.jp)
- ・川崎信用金庫 (www.kawashin.co.jp)
- ・株式会社東邦銀行 (www.tohobank.co.jp)
- ・株式会社北日本銀行 (www.kitagin.co.jp)
- ・株式会社栃木銀行 (www.tochigibank.co.jp)
- ・株式会社きらやか銀行 (www.kirayaka.co.jp)
- ・豊川信用金庫 (www.kawa-shin.co.jp)
- ・株式会社京葉銀行 (www.keiyobank.co.jp)
- ・株式会社西日本シティ銀行 (www.ncbank.co.jp)
- ・さがみ信用金庫 (www.shinkin.co.jp/sagami/)
- ・株式会社肥後銀行 (www.higobank.co.jp)
- ・株式会社山陰合同銀行 (www.gogin.co.jp)
- ・平塚信用金庫 (www.shinkin.co.jp/hiratuka/)
- ・株式会社ジェシービー (www.jcb.co.jp)
- ・株式会社広島銀行 (www.hirogin.co.jp)
- ・株式会社七十七銀行 (www.77bank.co.jp)
- ・三浦藤沢信用金庫 (www.shinkin.co.jp/miurafuj/)
- ・株式会社商工組合中央金庫 (www.shokochukin.co.jp)
- ・株式会社みちのく銀行 (www.michinokubank.co.jp)
- ・株式会社荘内銀行 (www.shonai.co.jp)
- ・株式会社武蔵野銀行 (www.musashinobank.co.jp)
- ・湘南信用金庫 (www.shinkin.co.jp/shonan/)

セキュアブレインについて:

株式会社セキュアブレインは、インターネット上の脅威が多様化する中、全てのインターネットユーザに安心を届ける、セキュリティのスペシャリストチームとして、「より快適で安心できるネットワーク社会を実現するために、一歩進んだ技術で貢献する」というビジョンのもと、フィッシング対策ソリューション「PhishWall サーバ」、「gred セキュリティサ

PRESS RELEASE

ービス」(<http://www.securebrain.co.jp/products/gred/index.html>)をはじめとした、信頼性の高いセキュリティ情報と高品質なセキュリティ製品・サービスを提供する、日本発のセキュリティの専門企業です。詳細は、<http://www.securebrain.co.jp> をご覧ください。

◆ 本件に関する報道関係者さまからのお問い合わせ先 ◆

株式会社セキュアブレイン 広報担当:丸山 芳生(まるやま よしお)

e-mail:info@securebrain.co.jp 電話:03-3234-3001、FAX:03-3234-3002

東京都千代田区麴町 2-6-7 麴町 RKビル 4F